

体験グローバル

テーマ「特許」 天野実業株式会社（天野先生・畠中先生）の講演を行いました。

2016年6月28日 7時間目に4年生を対象に、天野実業株式会社より天野肇先生と畠中和久先生をお招きして「企業における特許戦略」についてご講演いただきました。

講演では、天野先生からは、本校の卒業生でもある立場から、後輩に向けて目指すべき姿や、これからの生き方についてお話をいただきました。

畠中先生からは、「特許戦略」をキーワードに、企業から見た特許（権利）の意義や、天野実業が他社との関係の中で特許を用いてどのように市場を拡大してきたかをお話ししていただきました。

生徒との質疑応答の時間では、特許を介して企業同士が水面下でしのぎを削っていること、そして特許戦略には正解はなく日々模索を続けられているという実際の企業の現状をより詳しく話していただきました。

以下に講演を受けた生徒のアンケート結果をまとめました。



質問項目

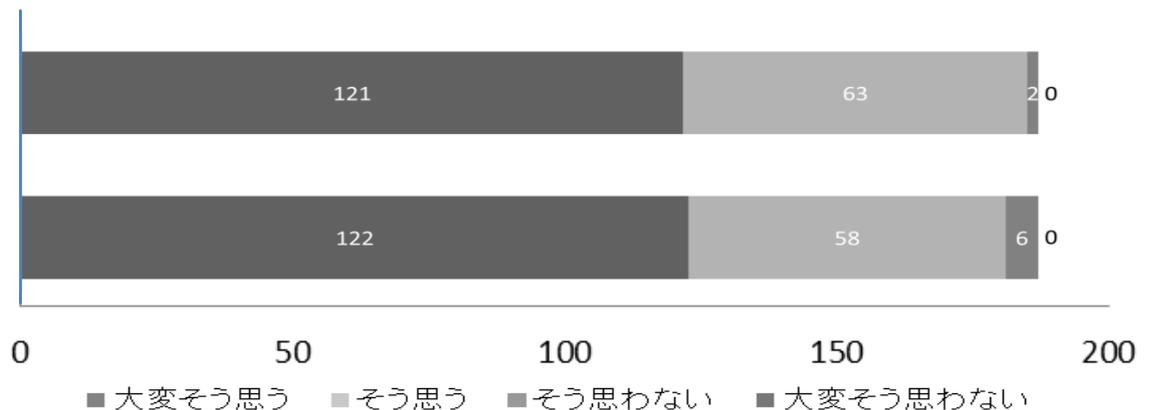
1. 今日の講演は興味・関心をもって聞くことができましたか。
2. 今日の講演は新しい考え方や視点が学べるものでしたか。

集計結果

*総数 196

質問 1

質問 2



自由記述 講演から学んだこと、考えたことを具体的に記述してください。

- 特許はこんな入り組んでいるとは思わなかった。特許の問題で会社が潰れたり、商品が売ることができなったりすることはそんなにあることではないと思っていたが、水面下でそういうことがあると知って驚いた。「特許戦略」という言葉自体は聞いたことはなかったが、その重要性がよく理解できた。
- 天野実業の戦略は、特許を数多く出願して、他社が真似しにくい状況をつくり他社を侵出させないようにするなど、特許を最大限利用していて、とても合理的だと思った。「特許とは“領地取り”である」という言葉は、まさにその通りだと思った。その一方で、一社で独占しては市場が広がらないから、あえてライバルを容認し、市場を広げるといった戦略もあることが分かった。特許、市場は奥深いものだなと感じた。
- モノづくりにおいて「特許」はとても大切なものだと思った。『下町ロケット』でも特許のことは話題になっていたが、「特許」は会社を成長させるかもしれないし、もしくは潰してしまうかもしれない。「特許」の重みを感じることができた。
- 「天野実業の高い技術があれば敵はいないだろう」と思っていたので、まさか商標の侵害、特許などに関する苦悩などがあると思わなかった。そうではないと知って驚いた。利益はなるべく上げたいと思いつつも、他社と協力して業界を拡大したいという思いがあるという中で戦略を立てられていることが分かり、人気の裏に様々な努力があるということを知ることができてよかった。



○「枯れ木も山の賑わい作戦」などの戦略を聞いて、他社に真似されないように特許をとる“LOVE&PEACE”では決してない真剣な本当の戦略なんだと思いました。攻めと守りをうまく使い、その戦法に“特許”という武器を使って戦いに勝ってきたのが天野実業なんだと思いました。また、守るべきところ、公開すべきところをうまく使っていないといけないことも分かりました。天野実業は福山出身で、戦いに勝ち残ってきた立派な会社で福山の誇りだと思いました。

○特許戦略は「生き残り戦略」というフレーズがとても印象に残っています。特許を取る技術というのもすごいと思うけれど、それをどう使い、どう会社のために活用するのが大事だと思いました。

○天野さんから主に“人生”についての話を伺いました。最初の「人生はアドベンチャー」では、自分について考える時間を得ることができました。人生に失敗はつきものです。挫折を経験しながらも、立ち直って、自分の将来を考えていかないといけないと思います。人生にはいろんな種類があると思いますが、そんな中で自分なりの将来像を自分で見つけたいと思いました。

○畠中さんが最後に言われた「ノブレス・オブリージュ」という言葉が印象に残りました。勉強をすることは大切だが、その知識をテストの点数を上げるためだけに使うのではなく、人の役に立てる行動や発言をするために使えるようにしていきたい。

○中学校2年生の時に一度見学に行かせていただきましたが、手の内をさらすのか、さらさないのかの工夫で会社の利益も変わってくることを聞き、「特許」の取り扱いが大切だと感じました。せっかく持っている特許でも有効利用できないとだめだから、戦略を考えることも大切だと分かりました。私も自分の能力をいかに生かすか改めて考えようと思いました。

○特許の話を通じて、企業のあくまでも利益を追究する姿勢を感じることができました。強い意志をもって臨まないで他社に市場を侵略されてしまうという話に、「厳しい競争の世界だな」と感じました。企業の新たな一面を聞くことができとても勉強になりました。

○特許は企業の権利を守ってくれるものだとばかり思っていたけれど、一概にそう言えるわけではないというのは意外だったし、おもしろいと思った。結構リアルなお話だったし、天野実業さんの戦略や、消費者の立場ではなかなか見えない特許に関わる裏側の話まで聞けたので、今度スーパーやコンビニに行く機会があったら、話で聞いたことにも注目してみようと思います。



○今の世の中は変化が絶えず、険しい道になりになると思われるが、自分がどこへ、何の道に進むのかを決め、臆することなく冒険心をもって自分の目標に向かって突き進みたい。どの選択にも長所・短所があり、どれがベストか分からない中で、企業は様々な観点から利益を考えて特許戦略を立てられているということが詳しく分かった。また、こういう社会では少しのミスも許されないとても厳しい世界であり、慎重に戦略を立てなければならないことに、「そこまで厳しいのか」と驚かされた。